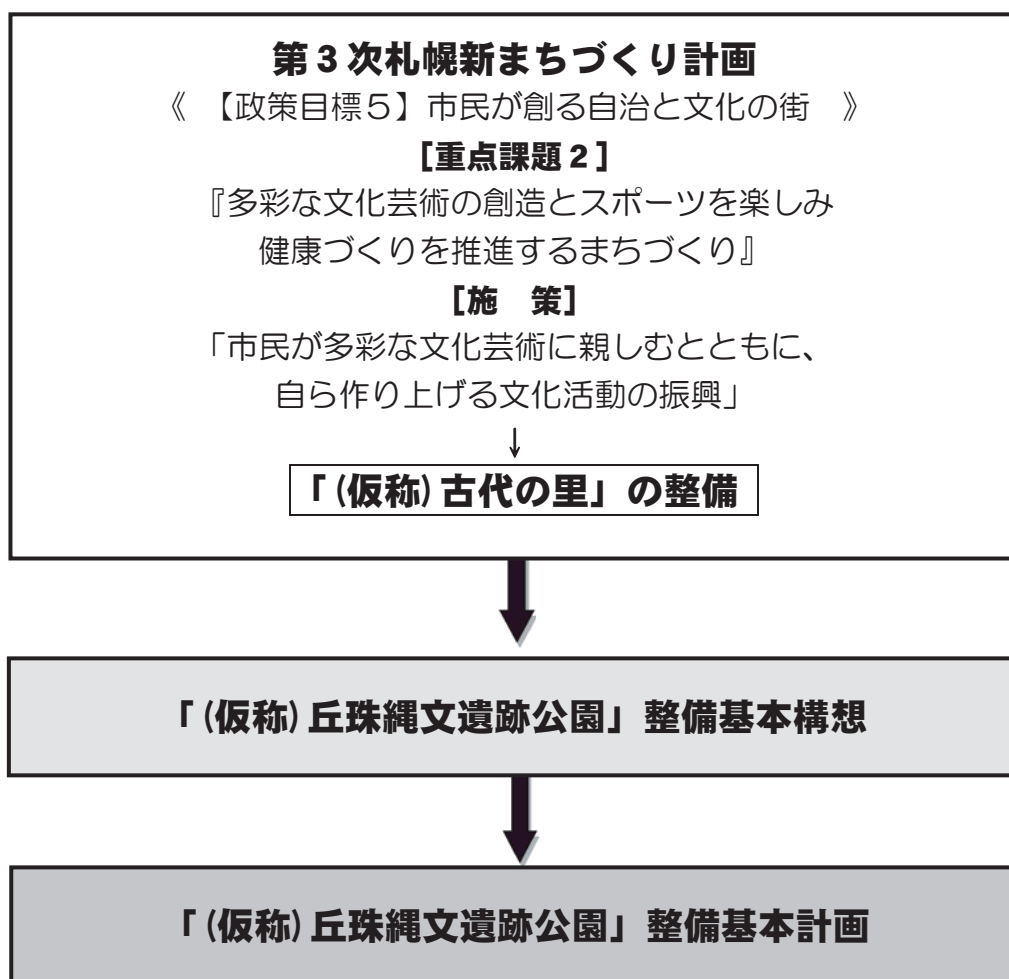


第2章 事業の位置付けと計画策定の経緯

1 事業の位置付け

遺跡公園の整備事業は、「第3次札幌新まちづくり計画（計画期間：平成23～26年度）」^{※5}において、「(仮称)古代の里」の整備事業として、政策目標「市民が創る自治と文化の街」、重点課題「多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり」を進める施策の一つに位置付けられました。



※5)「第3次札幌新まちづくり計画」は、まちづくりの長期的な総合計画（「第4次札幌市長期総合計画（計画期間：平成12～32年度）」）に基づき、札幌市を取り巻く社会的情勢の変化を受け今後10年間の新たなまちづくりの指針として平成25年度に策定された「札幌市まちづくり戦略ビジョン（計画期間：平成25～34年度）」の方向性を踏まえ、施政方針「さっぽろ元気ビジョン第3ステージ」（平成23年6月策定）に掲げられた「まちづくりの基本的な方向」を実行に移すために、平成23～26年度を計画期間として、優先的・重点的に実施する施策・事業を定めたものです。

2 基本計画の策定に至る経緯

(1) 基本計画策定の流れ

平成24年度に、(仮称)古代の里整備基本構想検討委員会(平成26年度から『「(仮称)丘珠縄文遺跡公園」整備基本構想・計画検討委員会』に名称変更；以下「検討委員会」)を設置し、平成24～25年度に、整備の方向性について検討を進め、平成26年8月に『「(仮称)丘珠縄文遺跡公園」整備基本構想』を策定し、平成26年度には、基本構想に基づき、整備の具体的な方針について検討を進めました。

また、平成24～26年度には、遺跡範囲の測量調査を行い、平成25・26年度には、遺跡の具体的な内容を把握するための部分的な発掘調査(確認調査：以下「確認調査」)を市民ボランティア参加のもと実施し、確認調査の成果に基づき、検討委員会の専門部会(調査・整備委員会)で遺跡の評価を検討しました。

さらに、平成25・26年度には、市民の声を活かした基本構想・基本計画づくりを目指し、確認調査に参加した市民ボランティアの意見交換会を開催するなど、市民意見の集約を行っています。

その他にも、遺跡公園の整備事業と縄文遺跡の魅力について市民の皆様と情報を共有するために、平成23年度以降、シンポジウム、講演会、出前展示、企画展、遺跡見学会等を開催しています。

この基本計画は、確認調査の成果に基づく遺跡の評価を踏まえ、市民意見を参考に、検討委員会での意見交換に基づき作成したものです。

(2) 検討委員会の設置・運営

サッポロさとらんど内に保存されている丘珠縄文遺跡を活用した遺跡公園の整備・活用に向けた基本構想・基本計画を策定するにあたり、専門的な立場及び市民の立場からの意見を聴くために、検討委員会(『「(仮称)古代の里整備基本構想検討委員会」)を設置しました(平成26年度『「(仮称)丘珠縄文遺跡公園」整備基本構想・計画検討委員会』に名称変更)。

また、確認調査の方法と遺跡の評価について専門的な意見交換を行い、整備の方向性を検討するために、検討委員会の中に、考古学を中心とした学識経験者からなる専門部会「調査・整備委員会」(以下「専門部会」)を設置しました。

なお、検討委員会及び専門部会は、市民の皆様と情報を共有するために、すべて

公開で開催しました。詳細については、巻末の『資料編』をご覧ください。

(3) 市民意見の集約

整備事業を市民の皆様とともに進めていくために、丘珠縄文遺跡の確認調査を市民参加で実施するとともに、市民の声を基本構想・基本計画の検討に活かすために、市民意見の集約を行いました。詳細については、巻末の『資料編』をご覧ください。

(4) 市民との情報共有

事業を進めるにあたり、市民の皆様と情報を共有するために、丘珠縄文遺跡見学会、中高生体験発掘、さとらんどにおける出前展示、シンポジウム、講演会等を開催しました。詳細については、巻末の『資料編』をご覧ください。